

喜びの一句 いただきました

何度か川柳を紹介しているK.Y.さんは、グループホームの利用者さんです。以前から川柳を作るのが好きで、デイケアで表彰を受けたこともあるそうです。

K.Y.さんは自分でつくった川柳が通信ともにに載ったことの喜びを表現した、右の句を持ってきてくれました。

こちらこそありがとうございます。K.Y.さんの川柳はこれからも紙面を癒してくださるでしょうね。よろしくお願います。

川柳
活字になつた
うれしいな
北海道 K・Y



今月の一句詠む読む

俳句・川柳の投稿はカフェの投稿箱、もしくはEメール info@npo-tomoni.com へ。

詠み人解説

せっかく動物園に来たのに、子は動物を観ずに足元にあるアリの巣をいじって遊んでいた。

動物園
わが子が夢中は
地面のアリ
北海道 さかさかまほこ

詠み人解説

誰か先に行った人がいると思ったら、終点で勘違いだったと気づいたときは迷いの始まり。

茂る山
けもの道にて
われひとり
出口求めて
鼓動高鳴る
北海道 山菜の女王

詠み人解説

ともに長く健康で仲良く生活できる願いをこめて。

いつまでも
ともに暮らそう
この我が家
北海道 K・Y

精神科医 土田正一郎の



その73 記念日

8月15日は終戦記念日であるが、この呼び方にずっと前から違和感を覚えていた。停戦ではなく無条件降伏をしたのだから、敗戦であって、終戦とは一線を画すべきであると幾分自虐的にもなっていた。しかし今年（令和4年）その違和感は一掃された。終戦が日本の国の戦いの終わりを示してただけで、それから世界中至る所で戦争が続けられていたので、わが国だけの終戦を記念することに違和感を覚えていたのであった、私は。いつの日にか制定されるであろう「世界終戦記念日」が待ち遠しい。

各事業報告～8月末日現在

障がい者就労支援事業所 ワークショップようてい	契約/移行1人、B型22人
グループホーム よろこび	利用者数 20人
K.S.C. Juntos	当事者選手 9人 サポートスタッフ 5人

- ◆法人会員 正会員19人 賛助会員 団体3団体 個人38人
- ◆今年度寄付金 のべ8人 194,000円
- ◆寄付物品 牛乳パック コーヒーゼリー

編集後記



コロナ「第7波」、当法人も引き続き感染拡大防止を徹底しています。イベントに行きたい、人に会いたい、そのような思いを抑えながら毎日を過ごしている方も多いでしょう。私もです。でもかかった時の自分や家族、周囲への影響を考えると、やはり今は我慢と思いとどめています。まだまだ気を引き締めたいですね。(かわさき)

通信 ともに

第89号

2022年9月8日発行
認定NPO法人ともに

住所 〒044-0053
北海道虻田郡倶知安町北3条西2丁目1-1
でんわ (0136) 55-5828
FAX (0136) 55-5829
Eメール info@npo-tomoni.com

ホームページ <http://www.npo-tomoni.com>

ブログ <http://blog.canpan.info/npotomoni/>

今月の一枚



収穫の季節がやってきた
ワークシヨップ農場

8月26日撮影 くわしくは3ページ「じゃがいも収穫はじまる」をご覧ください。

こころのルネッサンス 今年も後援します

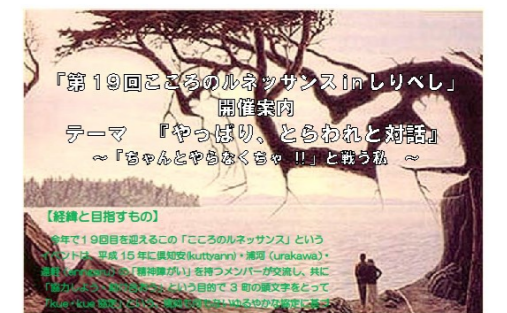
NPO法人MiMaTaさまが主催し当法人が後援する「第19回こころのルネッサンスinしりべし」。今年は9月24日土曜日午後1時30分から、共和町市民センターにて3年ぶりの集合開催となります。

社会福祉法人浦河べてのの理事長の向谷地生良氏の講演、倶知安町地域活動支援センター夢の匠職員による実践研究発表など充実した3時間です。市民センターでの参加は40人限定となっており、オンライン（zoom）での参加も可能です。みなさまふるってご参加ください。

参加費や開催要項など詳しくは下記までお問い合わせください。参加締め切りは9月9日です。

お問い合わせ先

特定非営利活動法人MiMaTa
電話・FAX (0136)23-4350
メール yumetaku@jewel.ocn.ne.jp



【経緯と目指すもの】
今年で19回目を迎えるこの「こころのルネッサンス」というイベントは、平成15年に倶知安(Kurikawa)・美幌(Miropo)・蘭越(Urakawa)の3市町村が主催し「精神障がい」を持つメンバーが交流し、共に「こころのルネッサンス」という目的で3市の旗文字をとり「こころのルネッサンス」というイベントとして開催されてきたイベントです。
お互い無言です。毎年3地域のどこかで顔を合わせて「旗」(スリ)を大切にしたいという思いで主に「旗の輪」(スリ)に呼び掛けてきました。結果として、年に1回の大切なイベントになっていきます。
この数年「コロナ禍」の影響で、第17・18回と対面では開催できず、残念ながら「旗の輪」や「web開催」となりましたが、昨年の第18回はYouTube配信で視聴回数438回にもなりました。今年も、若干収束気味ですが予断を許さない状況です。(R4/6/28 旗田)そこで今年度は「感染予防対策」を講じたうえで、予定参加者を控えめに開催し、web生配信でも参加していただけるよう計画しております。(注：万一の際は、録画 YouTube 配信)

開催日時： 令和4年9月24日(土) 13:30～16:30(受付開始13:00)
開催方法： メイン会場 共和町市民センター大ホール(収容人数40/400人程度)
オンライン形式 zoomによる生配信

※ プログラム・申込方法・参加費等については別紙開催要項をご確認ください。

【問合せ先・事務局】 特定非営利活動法人MiMaTa 担当：小林
〒044-0036 虻田郡倶知安町南6条西2丁目5-14
TEL/FAX 0136-23-4350
E-mail yumetaku@jewel.ocn.ne.jp

3年ぶり集合開催～子ども発達支援部会コラボ研修

羊蹄山ろく自立支援協議会の部会である「就労支援部会」と「子ども発達支援部会」が共催して実施する「コラボ研修」が8月1日、倶知安町役場にて3年ぶりに集合開催でおこなわれました。

今年のテーマは「子どもの進路について考えよう Part9 ～高校卒業後、就職・生活のサポートが必要なケースについて この羊蹄山ろく地域でできることを考えてみませんか？～」です。高校在学時と卒業後のそれぞれ、どう支援していくかを一つの事例から議論しました。

議論に熱 職種を超えて

当日は強い雨が降る中、教育、福祉、行政などさまざまな職種から40人を超える参加者があつまり、8グループに分かれて議論しました。議論で出てきたアイデアを各グループでまとめ、最後に発表という流れです。

白熱した議論が各グループで進み、休憩時間になっても多くの方が話し合っていました。職種を超えた話し合いに参加者のみなさんは大きな刺激を受けたようです。

今回で9回目を数えたコラボ研修、支援のネットワークがこれからも大きくなることを期待します。



倶知安町役場2階会議室にて 熱いディスカッション

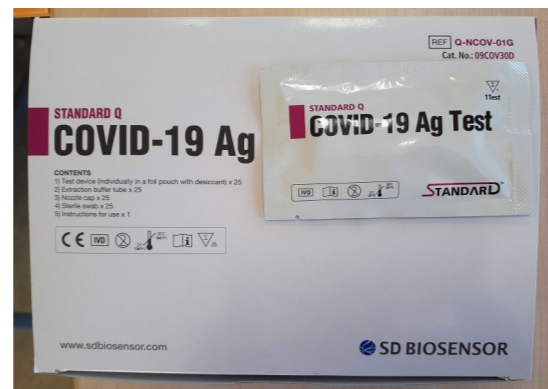


事例発表者がグループを回り 質疑応答

コロナ禍でも障がい者支援の継続は責務

7月から8月にかけて、北海道内の感染者数が爆発的に増えました。「第7波」と言われているこの流行に対し、当法人も感染拡大防止対策を徹底しています。

- ①7月末に倶知安町から2回目の抗原検査キットの支給があり、全職員と調理部の利用者を対象に8月上旬と下旬に検査をしました。
- ②本年3月「障がい者グループホーム従事者は、濃厚接触者となった場合に毎日の検査による陰性確認で業務従事可能」の道通知を受け、厚労省ガイドラインに従った検査キット購入や必要な手続き・研修を行いました。
- ③厚労省認証の製薬会社と契約を結び購入が速やかにでき、出勤前検査で職員は安心して業務に就くことが出来ています。



マルコム社製抗原定性検査キット
25テスト入 税込 32,175円

請負先を訪ねて～蘭越町



下阿達の周りに生えている雑草を、ていねいに探し摘み取っていきます。

8月3日、蘭越町内の農場を訪ねました。ここは以前お伝えしたシミックウエル株式会社さまが栽培をおこなっていて、ワークショップようい農業部が請負作業をしています。

訪れた時は気温26度でしたが湿度が高く、蒸し暑さがありました。それでも利用者のみなさんは汗を流しながら、除草作業やハウス設備の設置作業に一生懸命でした。

新たな活用を求めて

農場はシミックウエル株式会社業務部の西山さまに案内していただきました。ここでは赤シソの品種「しもあだち下阿達」と薬草の「えんめいそう延命草（ヒキオコシ）」を育てています。

下阿達（写真上）はこれまでにない品種で、摘み取るとかすかにレモンのような香りがし、噛んでも渋みが少なく食べやすそうでした。収穫したシソは別のビニールハウスで乾燥させて保存します。西山さまは「このシソの新たな活用方法を考えている」と話しました。

延命草（写真下）は「良薬は口に苦し」のことわざ通り、葉を噛むととても苦いです。生命力が強く、茎を土にさすだけで根が張り、成長することです。

ビニールハウスは全長50mあまり、広大な土地での作業は大変ですが、みなさんががんばって作業をしていました。



延命草の挿木苗づくり。西山さまが茎を切って苗床に挿すお手本をみせてくださいました。

夏野菜売れ行き好調！じゃがいも収穫始まる



8月下旬からさやあかねの収穫が始まりました。今年は昨年より収穫量が多く、やや大きめです。今年も食べチョコのほかFAX（添付の申込書をご覧ください）でも受け付けます。ほくほくのじゃがいもを今年もご堪能ください。

今年の夏は、出荷したミニトマト、ズッキーニ、ニンニクがコープさっぽろ倶知安店の「ご近所やさしい」でよく売れています。原油や肥料価格の高騰に左右されない“肥料を使わない自然栽培”の強みを感じました。